

願いごとがかないますように

from 志水小学校

七月六日(水)二時間目に、一年生が「七夕集会」を行いました。

一か月以上前から準備を進め、まずは、折り紙を使って笹飾りを作りました。はさみで切り込みを入れてから広げると、天の川のような、すてきなあみ飾りができます。子どもたちは、破れないようにそおとと折り紙を開いていました。ひし形に切った折り紙をのりで付けたり、輪っかをつなげたり。あちらこちらから、「できた!」「すーいー!」という歓声があがっていました。

前日には、笹飾りと願いごとを書いた短冊を一人ずつ笹の枝に結び付けました。丸めた粘土に枝をさして、椅子の上ののせ、会場内をぐるっと囲むと、一気に七夕の雰囲気ができ上がりました。短冊には様々な願いごとが書かれています。

- ☆ ピアノがうまくなりますように
 - ☆ さか上がりができますように
 - ☆ みんなが元気にすごせますように
 - ☆ あたまがよくなりますように
 - ☆ やきゅうせんしゅになれますように
 - ☆ テニスのせんしゅになれますように
 - ☆ ねこをかってもらえますように
- 「七夕集会」では、織姫と彦星のお話をDVDで見た後、「たなばた」の歌をみんなで歌いました。次は、代表の児童

六名の願いごとの発表です。みんなの前でがんばって発表したので、聞いている友達から拍手をもらって、うれしそうな様子でした。ゲームでは、「猛獣狩りゲーム」の七夕バージョンを楽しみました。リズムに合わせて、「願いごとがかなうかな」「七夕集会楽しいな」と歌った後、タンプリンを叩く音の数で仲間を作りました。仲良く手をつなぎ、笑顔がいっぱいあふれました。もう一つのゲームは、じゃんけん列車です。男子も女子もどんどんつながっていきました。大盛り上がり。「七夕集会」。みんなの願いごとがかなうといいですね。季節の行事を楽しみ、日本の文化に触れる機会を今後もつくっていききたいと思えます。



史料から 豊山 ひもとく

第⑤回

今回は、民具資料から「代用ロソク」、文書資料から「絵葉書各種」をご紹介します。



表題から、若い人たちは、ロマンチックなキャンドルを思い浮かべ、戦争を体験した世代では「防空壕」を思い出されるかもしれません。代用ロソクとは、戦時中に防空壕の中で使われたものです。

- 包装紙には、「非常用携帯燃料」とあり、「本品の特徴」として、次の六点が掲げてあります。
- 1、携帯に便利
 - 2、火力が強い
 - 3、マッチ一本で容易に火がつく
 - 4、壕内唯一の携帯灯火
 - 5、敵前にて飯盒を焚くも煙が出ない。
 - 6、屋外炊飯用として濡れても効力に変わりなし

この特徴からすると防空壕内での照

明以外にも広く使われていたようにも思われます。当時の事情のわかる方の教えを請いたものです。

『書窓 平成二十三年十二月号』より
▽絵葉書各種

大正七年から昭和八年の間に発行された、八十四点にのぼる絵葉書。枚数すると七百五十枚近くになります。豊山村や名古屋市役所など、公的な機関が多く発行していたものが四点。他に、現在なら「記念写真集」になるような絵葉書が発行されていました。数としては、富士山、北海道、吉野山など定番の観光地ものが六十三点と一番多いようです。

「浦潮斯徳」と「尼古里斯克」は、どちらもロシア・シベリア地区の地名になります。読み方は「ウラジオストツク」と「ニコリスク」。このように、戦前日本が関係、進出していた大陸の都市を扱った絵葉書も、大連、ハルビン、長春のものもありました。

『書窓 平成二十二年八月号』より

